**説明会（H27.3.16）の概要**

１　日時・場所

　日時：平成２７年３月１６日（月）

昼の部…午前１０時から午前１１時２５分

夜の部…午後６時３０分から午後７時１５分

場所：高知県立療育福祉センター・１階研修室

　参加者：昼の部１７人、夜の部７人

２　質疑応答の概要

質問：福祉避難所としての水、食料の備蓄倉庫はどこで、どのぐらいの備蓄を行う予定なのか。

回答：防災倉庫は大会議室の横に配置しており、物資を外からも出し入れできるように建物外側にも扉を設けています。

　　　備蓄の量については、高知市から福祉避難所としての指定を受けた後、市と調整を行う予定です。

　質問：入院児童のフロアスペースの現状の面積と建替後の面積はそれぞれ何㎡か。

回答：建替後は35㎡で、現状とほぼ広さを確保するようにしています。

　質問：分校からプールまで移動する際の動線はどうなっているか。建物の中は通れないのか。

　回答：現在の分校とセンターの間の出入口を出て、敷地沿いに北に行く想定です。

動線が現在より長くなりますが、途中の駐車場は分校の先生方の駐車場とする計画であり、他の人は入って来ないので、安全上は問題ないと考えています。

建物の中を通ると、他の来所者と動線が重なるので、極力避けた方がよいと考えています。

　質問：病棟で短期と書かれている部屋とそうでない部屋は違いがあるのか。

回答：短期と書いてあるところは福祉型の短期入所を想定しているところです。

部屋の配置につきましては、高知市の保健所の指導を受けながら調整する必要がありますので、配置が若干変わる可能性があります。

　質問：屋上庭園の活用方法はどうなっているか。また、利用者への配慮をしていることはあるか。

回答：２Ｆの肢体部門の前の庭園は、花を植えたり畑として使うための植栽帯を設けています。また組み立て式プールを置く想定ですので、その重さに耐えられる設計としています。

難聴部門前の庭園については、遊具を置くようにし、リハビリ西側の庭園については、将来的には屋外訓練に使えたらと考えています。

３Ｆの一時保護所の庭園については、肢体部門同様に花を植えたり畑として使うための植栽帯を２か所設けております。なお、屋上運動場を設けておりますが、両側の壁と天井の３方に防球ネットを張って、外にボール等が飛び出さない構造としています。

　質問：北棟３Ｆの体育室や運動場の下はリハビリ等のスペースになっていると思うが、騒音や振動への配慮は十分されているのか。

回答：位置関係としては、２Ｆの自閉部門の上に体育室が、肢体・難聴部門の上に屋外運動場がある構造となっています。

体育室には、フローリングを支える鉄製の足の下にゴムを敷いた床を設けて遮音する構造を採用する予定です。

運動場には、コンクリートの床板の上に遮音性がある断熱材と80mmのコンクリートを敷き、その上に弾性舗装材という音の低減とともに、運動する人の足への衝撃を和らげる素材を敷く予定です。

また、いずれもコンクリートの床板を通常より厚くすることとしており、騒音や振動に関しては十分に対応できるものと考えています。

質問：分校の通学生が増えてきている中、分校へ送迎を行う車が正門周辺で渋滞を起こしているので、センター敷地を通って北側へ抜けられるようにするか、分校の周りを１周して南へ抜けられるようにできないか。

回答：北側に抜ける方法については、通路が狭く、行き違いもできない幅なので、今後運用の中で対応可能かどうか検討します。

１周して南へ抜ける方法については、分校とセンターの間の通路は、ＬＰガスや厨房へ食材を運ぶトラックや、センターの病棟から分校に通う生徒と交錯する危険があるため、トラックの専用通路としたいと考えております。

なお、センターの外来駐車場に車を止め、センターの建物内を通って分校に送迎していただくことは可能です。

　質問：送迎について、外来駐車場は朝はすいているけれども、夕方迎えの時にはかなり混んでいるが、駐車台数は増えるのか。夕方もこちらに止めて大丈夫なのか。

回答：外来駐車場の台数は増やす予定です。なお、雨の日は濡れるので２階に上がって渡り廊下を通っていただくことになると思いますが、晴れの日は、南北棟連絡通路のところに出入口を設けているので、そちらを通って送迎いただくことは可能です。

　質問：雨の日にアーケードのところに車を止めて、いったん車いすを下ろして、東側の駐車スペースに止めに行くことは可能か。

回答：アーケード部分は、敷地全体の排水の関係で、車道と歩道との間に100mmの段差がありますので、ここで車いすを下ろすのは困難です。

雨の日は屋根付き駐車場か、車寄せで子供さんを下ろしていただく形になると思います。

　質問：車いす駐車スペース６台分をアーケードのところに移せば、濡れないように降りて入口へたどりつくことが可能ではないか。

回答：バスが通行するため、安全上車道の幅が５ｍ必要であることや、全体の駐車台数をできるだけ多く確保するため、このような配置としています。

　質問：母親と子供の２人で行動することが多いので、雨の日は車寄せで子供を下ろして中に入れ、近くの人に預けてから駐車している。建替後は、庇はあるが助けてくれる人がいないので雨の日はつらい。そういう面で工夫ができないか。

回答：分校に通学されている方の対応等については、教育委員会とも協議したいと考えています。

また、車いす用の屋根付き駐車場が９台で対応できるかどうかについては、利用状況も踏まえて検討したいと思います。

　質問：看護師宿舎の解体工事の際でもかなり揺れたので、これが杭打ちとかになれば、相当揺れるのではないかと心配しているが、その辺はどうなのか。また、揺れがひどい場合には、どこに相談したらよいのか。

回答：家屋への被害が出た場合に、それが工事による被害なのかどうかを確認するための工事前と工事後に調査を行います。この調査に基づき、もし工事による被害ということであれば、補償をさせていただくことになります。

杭打ちでどれだけ揺れるのかは、高知市の条例で定められた基準は超えないように施工は行いますが、どのぐらいの影響があるかは現時点では分かりません。

揺れについてのご相談は、今回の工事に伴って設置している看板に連絡先を記載していますので、そちらまでご連絡いただければと思います。

　質問：リハビリ等は工事をしながら継続するということか。

回答：まず南棟を建設して本館の機能を移しますが、リハビリについては北棟ができるまでの間は仮設となりますので、一部ご不便をおかけするかもしれませんが、継続しながら工事を行うことにしております。